

太陽光発電の架台設置に 新基礎アンカーシステム

コンクリート陸屋根に
あと基礎アンカー
ダイレクトスラブ工法

AKH-190
多雪エリアに
高強度型

直接大地に
ティー・アーススクリュー
ダイレクトアース工法

DES-076X1300
斜面に
施工可能

第1回【関西】太陽光発電システム施工展に出展します。
会期:2013年10月2日(水)~4日(金) 会場:インテックス大阪

50 Years サンコーテクノ株式会社 | 太陽光商材推進グループ TEL.0270-0163 千葉県流山市南流山3-10-7
http://www.sanko-techno.co.jp/ TEL.04-7157-9935 FAX.04-7157-9700



場所や条件に応じた最適な工法を提案

新エネルギーの発展支える
一方で、大規模なメガソーラーについて、有力な候補地が少なくなっているとの指摘もある。そして問題となつているのが、電力会社の送電網への接続だ。太陽

架台の製造法自体を工夫する動きもある。そのコスト削減には、母材を

1. 基礎工事によるコスト削減
2. 施工方法によるコスト削減
3. 鋼材の選択によるコスト削減
4. 施工効率によるコスト削減
5. 経済性によるコスト削減

サンコーテクノは、コンクリート基礎なしで太陽光パネルや設備機器の架台を設置できるアンカーボルトの高強度タイプ「あと基礎アンカー AKH-190」を販売。従来

「AKG-175」では、多雪エリアでは强度を出すため多くのアンカーボルトを打ち込む必要があったが、引張・圧縮強度が従来品の1.6倍、剪断強度は2倍となり本数を抑えられる。

また、バネルを地盤に設置する際の基礎となる鋼管杭「ティー・アーススクリュー」は、直接地盤に固定できるスクリュー形状。独自ノウハウにより傾斜地への施工も可能。両製品とも従来工法のコンクリート基礎に比べ工

程、一期の大規模化を実現した。

日本太陽光システム
(掲載順不同)

日本太陽光システムの地上設置型太陽光モジュール架台「ソーラースタンド」は、主要部材が高強度のプレキャストコンクリート製で耐久力が高い。地面に置くだけの簡単施工が特徴だ。モジコールを台風などから保護する暴雨対策防風壁「ウインドガード」は、重さ920kgで毎秒45mの風速に耐えられる。置くだけで地盤を掘らないため工期は短く、コスト。産業廃棄物の埋め立てや岩盤など、杭施工が難しい用地でも施工できる。両製品とも縮モルタル材を注入し結合する。

企業紹介、次ページ下段へ続く

太陽電池 取付け金具

■抜群の施工性
独自の首振り機能で施工時間を大幅短縮

■優れた耐食性
アルミミックステンレス製でサビに強い

ハゼ折板用金具 意匠登録・特許登録
フラットグリップ 金具

メーカー直接対応だから可能となった、スピード納品・物件対応。お気軽にご相談ください。

株式会社 カナメ TEL.03-3562-0651

東京営業所 東京都中央区京橋2-9-2第1みちのくビル5階
本社 栃木県宇都宮市平出工業団地38-52
ホームページ <http://www.caname-solar.jp>

地球環境への取り組みを私たちの技術でしっかり支えます。

八州電工の産業用太陽光発電システム用架台

ブルボックスの最大手八州グループが作るオーダーメード架台および標準架台

■長年の実績
20世紀にさかのばる太陽光架台製作の実績。

■オーダーメードでも短納期を実現
北海道から九州まで全国の工場ネットワークにより、短納期を実現。

■各パネルメーカーに対応
国内外問わず各メーカー製太陽光パネルに合わせた架台の設計を行います。

■高耐久軽量部材(めっき及びステンレス、アルミ等)
部材の軽量化により搬入・設置が軽減でき、材質は高耐食性めっき鋼板の使用により、溶融亜鉛めっき加工に劣らない高い防錆効果を発揮します。

■各種設置場所に応じた設計・製造
オプションにより、当社構造計算スタッフ(一级建築士)による設計・強度計算を行い、設置場所・形状にあつた架台製作を行います。

八州電工グループ
株式会社 ヤシマエコデザイン
本社 〒541-0046 大阪市中央区平野町3丁目1番10号
TEL.06-6222-3063 FAX.06-6222-4550

太陽光発電用架台と関連機器

システム費削減に寄与 材質・形状も多様化

温室効果ガスやエネルギーの安定供給問題の対応策として注目されるのが再生可能エネルギーの一つである太陽光発電システムだ。2012年8月の固定価格買取制度の制定に伴い全国で設置案件が増えた。また、パネルと工事費を含むシステム費用が12年度調査価格算定期の1.9%で、当社3.5円から半年で同28円に下落するなど事業者の導入しやすい環境が作られている。なかでも架台は材質・形状とも多様化が顕著。顧客の設置環境に最適かつ、短納期、低コストに提供するため各架台メーカーは研究・開発を進めている。

置工法。中でも円柱型架台を取り付ける工法では、コンクリート基礎で数以上だした総重量を、10kg程度まで削減した。

はコスト削減のために十分な防水対応が行われず

そこで現在注目され

ているのが下地処理を必

要とする架台による設

太陽光発電システムに設置するためのモジコール架台など

ある。従来、架台を設

置する際にには住宅・非住

宅向けにかわらず、コン

クリートの下地を造成

して固定する基礎工事が

求められる。同工程に必

要な工期と人件費がコス

ト増を形成している。

また、コスト増を抑えたコス

ト増を形成している。

また、これま

でモジュール

や架台の点検に

は1台ずつモジ

ユールを取り外

し、点検後に再

び設置するとい

う手間がかかつ

いたある企

業では、上手に開

閉できる仕組み

の可変式架台を開

発し、コスト削減

を提案して

いる。一般的的

に開閉できる仕組み

の架台を開閉する

トが課題とされる

根の過重負担や、防水対

応へのメンテナンスコス

トが課題とされる

根の過重負担や、防水対

応へのメンテナンスコス